

経 済 日 誌

兵庫県

2024年7月～9月

7/5 上半期 県内倒産 287件

帝国データバンク神戸支店によると、県内企業の24年上半期（1～6月）の企業倒産は、件数が287件と前年同期比21・6%増加したが、負債総額は同79・3%減少の181億5400万円だった。100億円以上の大型倒産が発生せず、1億円未満の小規模倒産が大半を占めた。

7/15 関西3空港懇談会 新飛行ルート合意

関西、大阪（伊丹）、神戸空港の役割を官民で話し合う「関西3空港懇談会」が大阪市内で開かれ、関西、神戸両空港の発着枠拡大に向けた新飛行ルートに合意した。神戸空港では国際チャーター便が来春解禁され、国内線も発着回数の上限が1日80回から120回に引き上げられる見込み。

7/18 上半期 神戸港輸出 7期ぶりマイナス

神戸税関が発表した24年上半期（1～6月）の神戸港貿易概況（速報）は、輸入総額が前年同期比2・1%減の5兆8402

8/1 阪神甲子園球場 100周年

億円と半期ペースで2期続けて減少した。輸出が同0・3%減と7期ぶりに減少し、輸入も同5・0%減と2期続けて減少した。

甲子園球場（西宮市）が開場から100周年を迎え、記念式典が開催された。1924年に「甲子園大運動場」として完成。戦禍に巻き込まれながらも「野球の聖地」であり続けた歴史が刻まれている。

8/5 兵庫県内の最低賃金 時給1052円へ

厚生労働省兵庫労働局の諮問機関である兵庫地方最低賃金審議会は、今年度の最低賃金（時給）を1052円と51円引き上げるよう答申した。この引き上げ額は昨年の41円を上回り過去最大で、兵庫県の最低賃金は全国8位の水準となった。

8/21 兵庫県の23年度決算 黒字35億円

兵庫県が発表した23年度の決算見込みは、一般会計の実質単年度収支が35億2000万円の黒字だった。社会活動の正常化に加え、企業業績の回復などを受けて県税収入が過去最高を更新したことが寄与した。

8/28 県24年上半期 高齢者孤独死1221人

警察庁によると、24年上半期（1～6月）の孤独死のうち65歳以上の高齢者は全国で2万8330人だった。都道府県別では東京都の3498人が最多で、兵庫県は1221人と全国8位だった。政府は「孤

独・孤立対策推進法」施行を受け実態把握を進め、同庁が初めて集計、公表した。

9/5 人と防災未来センター「防災資産」に認定

内閣府と国土交通省は、災害の教訓を伝える施設や活動を対象とした「NIPPON防災資産」に全国の22件を認定した。認定は今回が初めてで、兵庫県からは「人と防災未来センター」が優良認定に選ばれた。

9/6 国際フロンティア産業メッセ 神戸で開催

9月5、6の2日間、神戸国際展示場で西日本最大級の産業総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2024」が開催された。災害時の避難誘導や物資輸送を担うドローン、水素エンジンで走行するバイクなど先端技術を使って社会課題解決を目指す製品を展示するほか、未来社会に向けた挑戦や大阪・関西万博に関する講演も行われた。

9/17 100歳以上の高齢者 兵庫県全国6位

厚生労働省によると、全国の100歳以上の高齢者は前年比2980人増の9万5119人となり、54年連続で過去最多を更新し続けている。兵庫県は同172人増の4025人と全国で6番目に多い。

9/17 兵庫県 地価 県内住宅地2年連続上昇

国土交通省が発表した7月1日時点の基準地価によると、県内住宅地の平均は前年比+1・2%となり2年連続で上昇、商業地も同+2・8%と3年連続で上昇した。